

## 浜岡原子力発電所3号機 サービス建屋地下1階での漏水について

平成22年3月2日

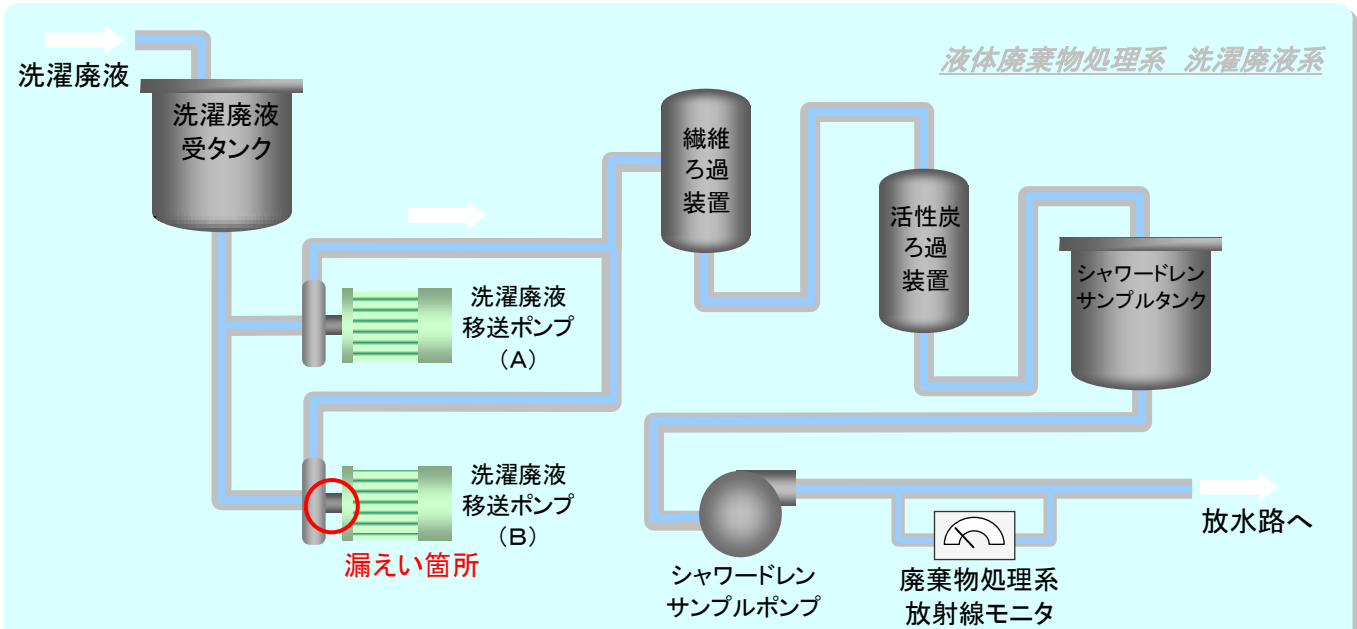
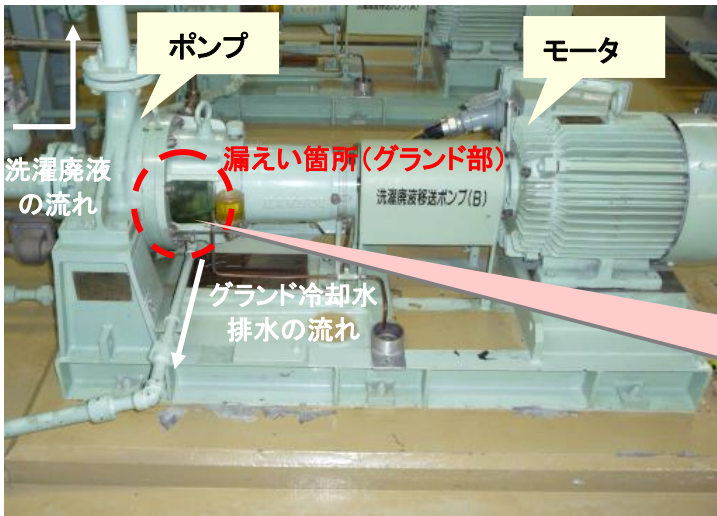
発生号機	3号機(定格熱出力一定運転中) : 沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生年月日	平成22年3月1日
発生時の状況	<p>午後3時00分、協力会社社員がサービス建屋地下1階の洗濯廃液移送ポンプ<sup>※1</sup>(以下、「移送ポンプ」という。)エリア(放射線管理区域内)で、床面に水たまりを確認しました。</p> <p>直ちに当社社員が現場確認を行い、移送ポンプ(B)の周辺に水たまり(合計約3リットル)があること、および現在は漏えいが継続していないことを確認しました。</p> <p>なお、この水を分析した結果、放射能は検出されませんでした。</p>
原因	移送ポンプ(B)の運転状態を確認したところ、移送ポンプ(B)のグランド部 <sup>※2</sup> からの冷却水の漏れが通常より多いことに加え、受け部の排水状態が悪いことから、移送ポンプ(B)の運転時に、グランド冷却水が受け部から溢れ、床面に広がったものと推定しました。
対応	準備が整い次第、移送ポンプ(B)のグランドパッキンの交換を行うとともに、同ポンプグランド冷却水の受け部につながる排水配管内を清掃します。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の漏えいはなく、当社社員および協力会社社員に計画外の放射線を受けた者はいませんでした。
<a href="#">お知らせ基準</a>	運転情報「表1-2 管理区域内において、放射性物質を含む機器等からの水の漏えいを発見したとき(ただし、1リットル程度に至らない微少な漏えいを除く。)」に該当します。

※1 洗濯廃液移送ポンプは、放射線管理区域内で着用した衣服等の防護具の洗濯廃液をろ過装置へ移送するためのポンプです。

※2 グランド部とは、ポンプ本体からポンプ主軸が貫通する部分をグランドパッキンで封水し、ポンプ内部からの漏れを低減しています。

以上

# 漏えい箇所・系統概要図



洗濯廃液系は、管理区域内で着用した防護具を洗濯した際に発生する放射能濃度が極めて低い廃液を収集し、環境へ放出するため所定の水質基準を満足するよう、安全に処理する系統です。